長崎県

知事記者会見

現在の感染状況等について

令和4年4月20日

県内の感染状況等について

※病床使用率は医療圏毎に以下の数値に基づき算出
上段　…緊急時病床数：570床（長崎：208床、佐世保：134床）
（下段）…最大確保病床数：449床（長崎：161床、佐世保：98床）

4/19公表時点

※R4.4.14～病床使用率の算定方法変更

県全体		4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19
病床使用率	病床全体（※）	13.0%（16.5%）	13.2%（16.7%）	13.2%（16.7%）	11.9%（15.1%）	11.6%（14.7%）	11.6%（14.7%）	13.0%（16.5%）	13.2%（16.7%）	14.0%（17.8%）	14.6%（18.5%）	14.4%（18.3%）	15.6%（19.8%）	19.3%（24.5%）	19.3%（24.5%）	19.5%（24.7%）	20.5%（26.1%）	21.2%（26.9%）	21.2%（26.9%）
	重症者用病床	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	5.0%
新規感染者数（１０万人/週）		269人（136.0人）	257人（139.7人）	145人（143.3人）	371人（150.6人）	380人（156.9人）	397人（163.3人）	392人（168.5人）	389人（177.7人）	389人（187.7人）	192人（191.2人）	490人（200.3人）	469人（207.2人）	449人（211.1人）	524人（221.2人）	394人（221.6人）	346人（218.3人）	202人（219.1人）	556人（224.1人）
療養者数（１０万人/日）（入院＋宿泊＋自宅）		228.7人	245.4人	235.0人	245.5人	252.6人	250.9人	260.6人	270.4人	275.5人	279.7人	290.1人	308.3人	314.6人	314.1人	309.3人	317.3人	300.6人	312.2人

長崎市	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19
病床使用率（※）	17.8%（23.0%）	18.3%（23.6%）	20.7%（26.7%）	19.7%（25.5%）	20.7%（26.7%）	21.6%（28.0%）	23.1%（29.8%）	22.1%（28.6%）	22.1%（28.6%）	22.1%（28.6%）	19.7%（25.5%）	22.6%（29.2%）	29.3%（37.9%）	26.9%（34.8%）	26.4%（34.2%）	26.0%（33.5%）	29.8%（38.5%）	29.3%（37.9%）
新規感染者数（１０万人/週）	79人（131.3人）	104人（140.5人）	74人（152.3人）	118人（161.1人）	157人（182.6人）	138人（190.7人）	148人（199.9人）	147人（216.6人）	106人（216.8人）	73人（216.6人）	214人（240.0人）	185人（247.1人）	200人（262.3人）	251人（287.4人）	127人（282.6人）	166人（297.2人）	111人（306.5人）	212人（306.0人）
療養者数（１０万人/日）（入院＋宿泊＋自宅）	182.8人	202.9人	197.7人	208.5人	224.6人	243.7人	270.1人	279.6人	292.3人	307.2人	300.2人	321.9人	344.4人	372.8人	363.0人	400.1人	366.2人	410.9人

佐世保市	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19
病床使用率（※）	12.7%（17.3%）	12.7%（17.3%）	11.2%（15.3%）	8.2%（11.2%）	6.7%（9.2%）	6.7%（9.2%）	9.0%（12.2%）	9.0%（12.2%）	11.2%（15.3%）	11.2%（15.3%）	13.4%（18.4%）	14.2%（19.4%）	16.4%（22.4%）	18.7%（25.5%）	19.4%（26.5%）	23.9%（32.7%）	22.4%（30.6%）	23.9%（32.7%）
新規感染者数（１０万人/週）	67人（164.9人）	50人（166.1人）	22人（168.6人）	77人（176.4人）	74人（173.9人）	108人（191.2人）	85人（198.6人）	106人（214.6人）	57人（217.5人）	24人（218.3人）	98人（227.0人）	78人（228.6人）	79人（216.7人）	63人（207.6人）	59人（188.3人）	55人（187.5人）	21人（186.2人）	85人（180.9人）
療養者数（１０万人/日）（入院＋宿泊＋自宅）	200.2人	219.6人	194.1人	200.6人	206.8人	229.4人	239.3人	252.0人	247.5人	236.4人	250.8人	264.4人	269.3人	294.0人	281.2人	266.4人	217.1人	219.1人

			県レベル０	県レベル１	県レベル２		県レベル３	県レベル４
					県レベル２－Ⅰ	県レベル２－Ⅱ		
指標	病床使用率	病床全体	—	10%以上（57床以上）	20%以上（114床以上）	35%以上（199床以上）	50%以上（285床以上）	100%以上（570床以上）
		重症者用病床	—	10%以上（4床以上）	20%以上（8床以上）	35%以上（14床以上）	50%以上（20床以上）	100%以上（40床以上）
参考指標	新規感染者数		—	98人/週 以上（14人/日以上）（7.38人/10万人/週）	196人/週 以上（28人/日以上）（14.7人/10万人/週）	343人/週 以上（49人/日以上）（25.8人/10万人/週）	490人/週 以上（70人/日以上）（36.9人/10万人/週）	994人/週 以上（142人/日以上）（74.9人/10万人/週）
	療養者数（入院+宿泊+自宅）		—	145人/日 以上（10.9人/10万/日以上）	290人/日 以上（21.9人/10万/日以上）	509人/日 以上（38.4人/10万/日以上）	727人/日 以上（54.8人/10万/日以上）	1,457人/日 以上（109.8人/10万/日以上）

入院医療の状況

4月19日公表時点の入院患者数と病床使用率（医療圏別）

※ 上段　…緊急時病床数
（下段）…最大確保病床数

医療圏	長崎	佐世保県北	県央	県南	本土計	五島	上五島	壱岐	対馬	合計
入院患者数	61	32	9	12	114	1	0	3	3	121
病床数※	208 (161)	134 (98)	92 (69)	43 (35)	477 (363)	25 (23)	19 (17)	22 (21)	27 (25)	570 (449)
病床使用率※	29.3% (37.9%)	23.9% (32.7%)	9.8% (13.0%)	27.9% (34.3%)	23.9% (31.4%)	4.0% (4.3%)	0.0% (0.0%)	13.6% (14.3%)	11.1% (12.0%)	21.2% (26.9%)
フェーズ	4				—	2	2	4	2	—

●入院患者：重症2名、中等症・軽症119名
※1月以降15名

全感染者数：41,355名

●宿泊施設療養者：220名

●自宅療養者：3,272名
※第5波の最大値（391名）の約8倍

●調整中：456名
（その他：27名）

●回復者数：37,140名

●死亡者数：119名（80代以上が7割超）　※うち、1月以降46名

第6波における入院率の推移

➢ ワクチン接種の進展により、入院率は全年代で低下傾向で推移

年 代	第 6 波			(参 考) 第 5 波
	全期間	1月	3月	
10代以下	0.8%	1.4%	0.7%	10.8%
20~30代	2.4%	3.7%	1.9%	24.9%
40~50代	6.0%	8.7%	4.1%	52.1%
60代	19.2%	23.1%	14.2%	65.7%
70代	41.1%	44.1%	31.3%	86.4%
80代以上	74.2%	75.1%	65.8%	93.0%
全 体	8.1%	10.2%	4.5%	33.2%

60代以降 入院率が大きく上昇

市町別発生状況(1/1～4/19 公表分)

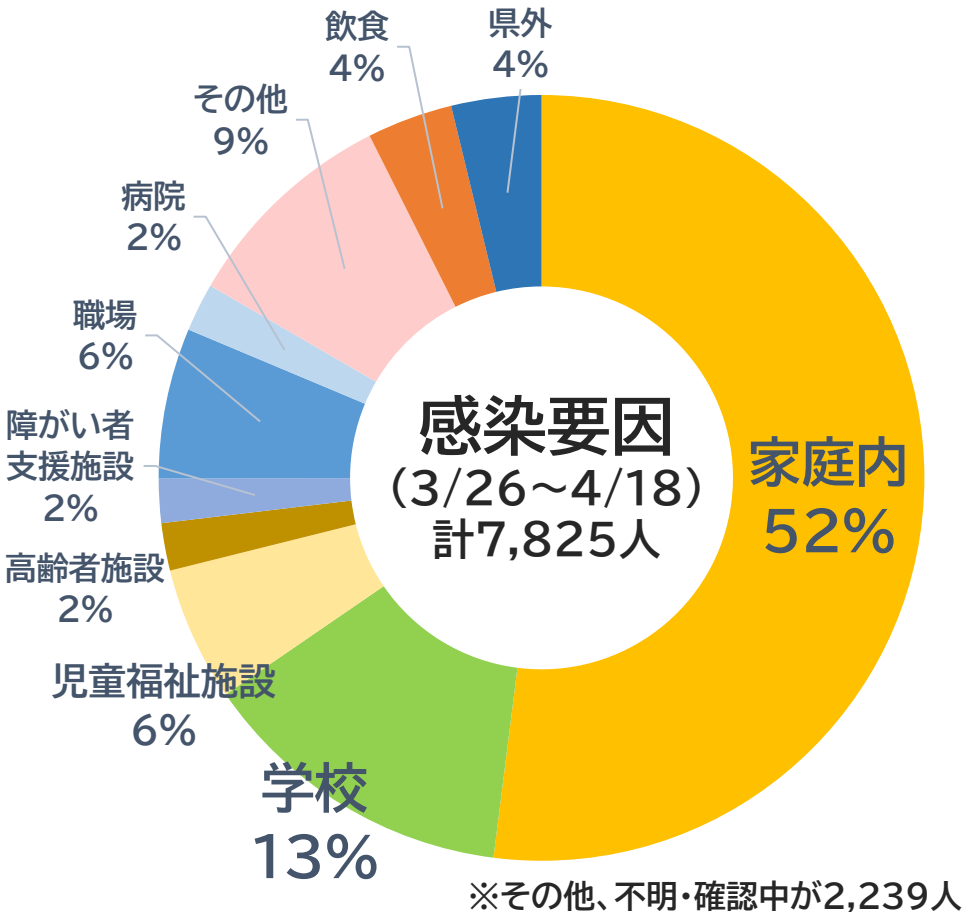
市町名	感染者数	発生割合	10万人/週
長崎市 (409,118人)	12,392人	35.2%	306.0人
佐世保市 (243,223人)	7,679人	21.8%	180.9人
島原市 (43,338人)	1,212人	3.4%	244.6人
諫早市 (133,852人)	3,900人	11.1%	190.5人
大村市 (95,397人)	2,982人	8.5%	204.4人
平戸市 (29,365人)	491人	1.4%	173.7人
松浦市 (21,271人)	414人	1.2%	291.5人
対馬市 (28,502人)	133人	0.4%	101.7人
壱岐市 (24,948人)	274人	0.8%	64.1人
五島市 (34,391人)	178人	0.5%	191.9人
西海市 (26,275人)	278人	0.8%	72.3人

市町名	感染者数	発生割合	10万人/週
雲仙市 (41,096人)	1,145人	3.3%	129.0人
南島原市 (42,330人)	735人	2.1%	309.5人
長与町 (40,780人)	1,205人	3.4%	274.6人
時津町 (29,339人)	922人	2.6%	129.5人
東彼杵町 (7,721人)	258人	0.7%	90.7人
川棚町 (13,377人)	277人	0.8%	291.5人
波佐見町 (14,291人)	266人	0.8%	251.9人
小値賀町 (2,288人)	47人	0.1%	0.0人
佐々町 (13,912人)	385人	1.1%	201.3人
新上五島町 (17,503人)	41人	0.1%	28.6人
県全体 (1,312,317人)	35,214人	–	224.1人

直近の感染状況

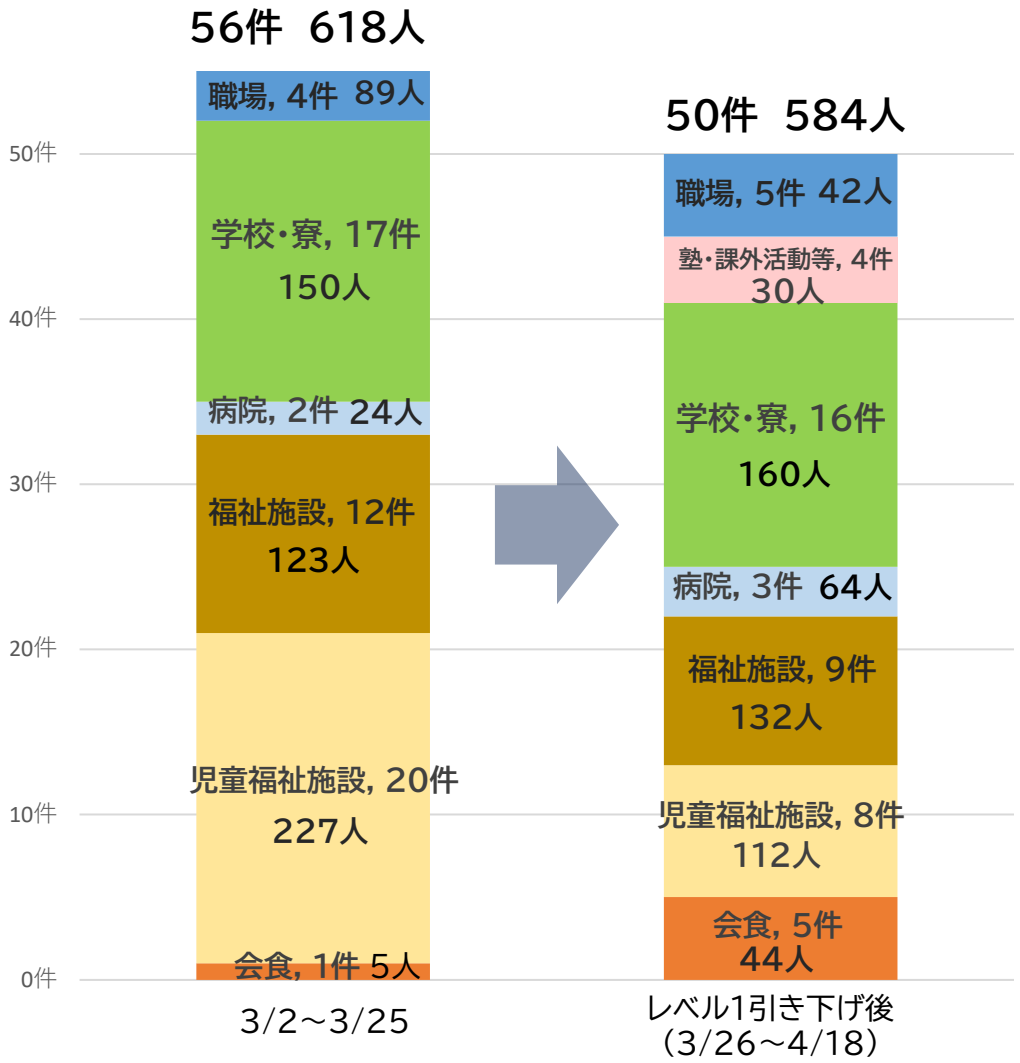
4月18日時点

感染要因分析



※その他、不明・確認中が2,239人

クラスター発生状況

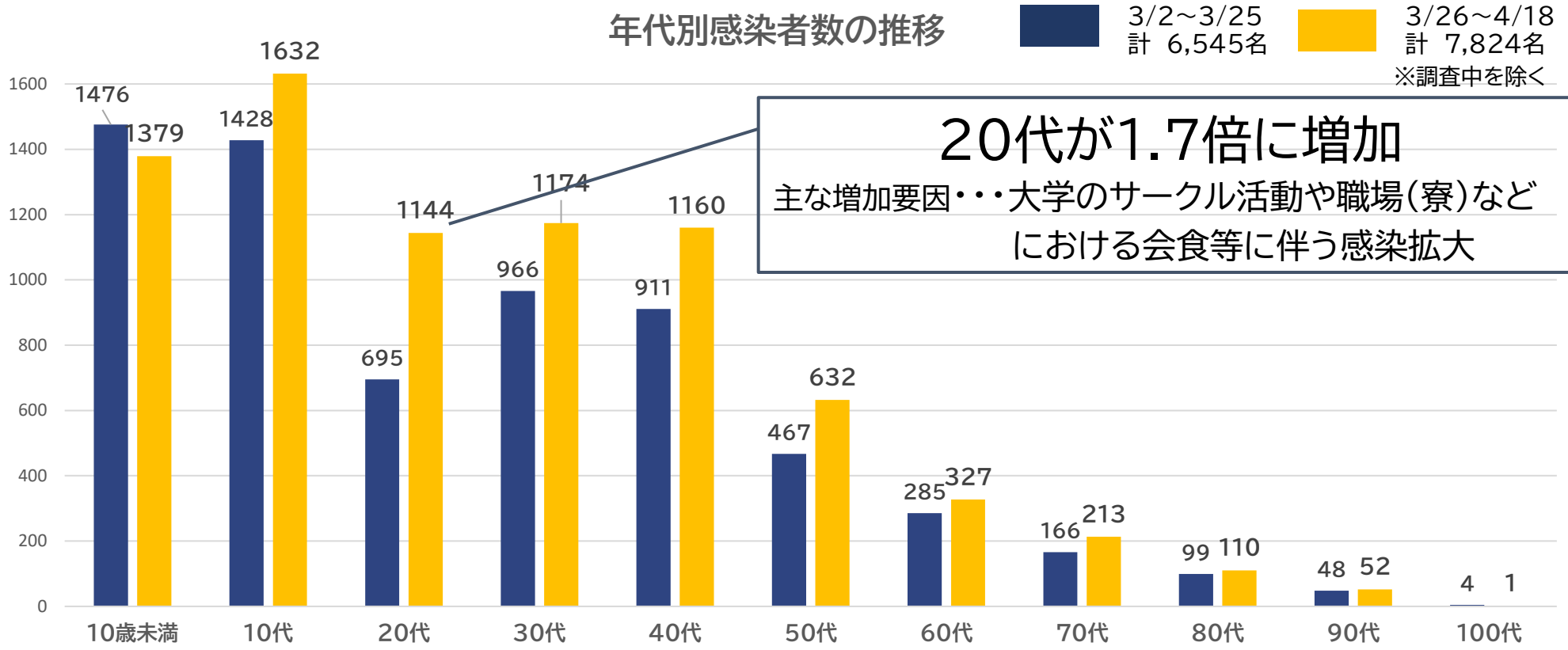


- 家庭内感染が全体の5割超
- 学校と児童福祉施設が約2割

年代別の発生状況

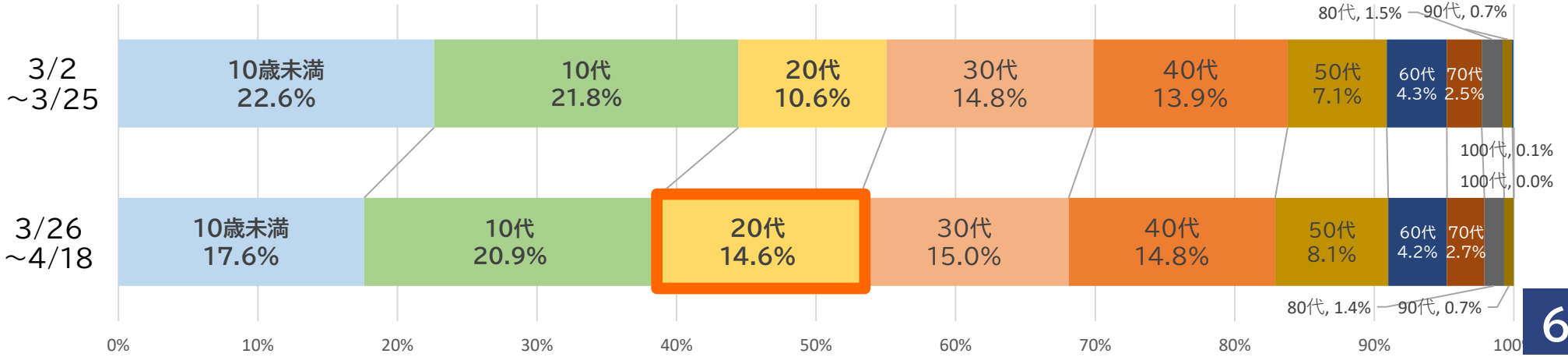
4月18日時点

年代別感染者数の推移



20代が1.7倍に増加

主な増加要因・・・大学のサークル活動や職場（寮）などにおける会食等に伴う感染拡大



保健所業務について

「オミクロン株の特徴を踏まえた対応」と「保健所デジタル化」をさらに推進し、新型コロナ業務と通常業務の両立を図る。

第6波発生当初

新型コロナウイルス感染症業務

通常業務を縮小し、保健所全体で対応

- ▶ 積極的疫学調査
  全ての濃厚接触者を特定
- ▶ 健康観察
  全ての感染者に毎日電話
- ▶ 入院、宿泊療養調整、自宅療養支援など
  全例保健師対応

通常業務(※)

・最小限の業務を実施
・5保健所でBCPを発動

(※)精神保健福祉、地域包括ケア、健康づくり、難病患者支援等

オミクロン株の特徴を踏まえた
・積極的疫学調査の重点化
・健康観察の外部委託

保健所デジタル化の推進

現在

新型コロナウイルス感染症業務

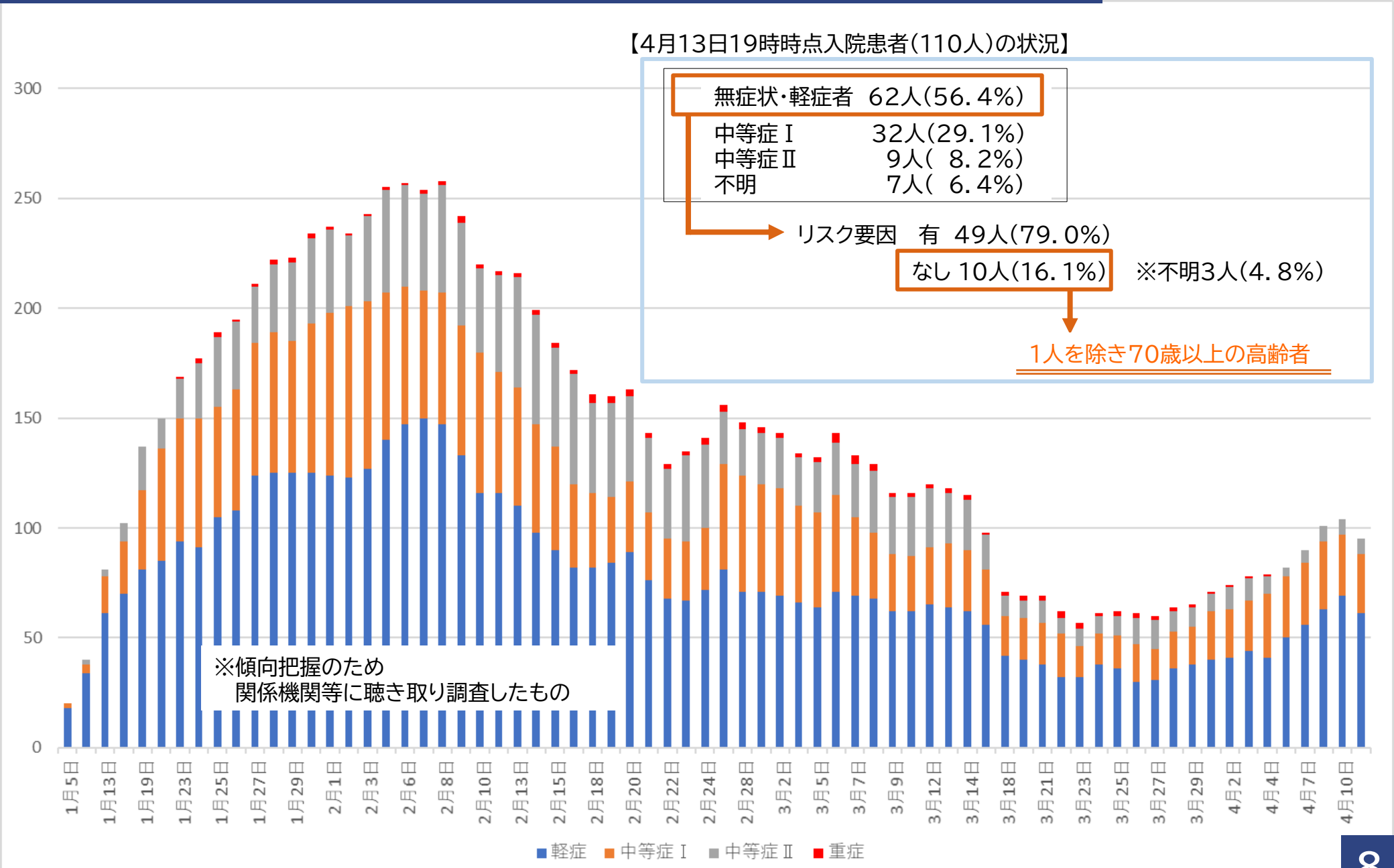
通常業務再開も目指し、重点化と委託を推進

- ▶ 積極的疫学調査
  濃厚接触者特定はハイリスク者に限定
- ▶ 健康観察
  ハイリスク者以外は委託
- ▶ 入院、宿泊療養調整、自宅療養支援など
  全例保健師対応

通常業務

・徐々に通常業務を再開
・4保健所でBCPを発動
→地域包括ケア、健康づくり等の事業を推進

重症度別入院患者数の推移（第6波）



一般医療の制限状況

▶ コロナ患者受入医療機関における診療等の制限は増加傾向

《コロナ患者受入医療機関（45施設）の制限等の状況》

	2月25日	3月11日	3月25日	4月8日
外　来	6施設	↘ 4施設	↘ 1施設	1施設
入　院	16施設	↘ 10施設	↘ 8施設	↗ 9施設
救　急	6施設	↘ 5施設	↘ 3施設	↗ 5施設
職員の休業（陽性者）	51人	↘ 31人	31人	↗ 51人
職員の休業（濃厚接触者）	91人	↗ 99人	↘ 66人	↗ 98人

《一般病床からコロナ病床への転用》

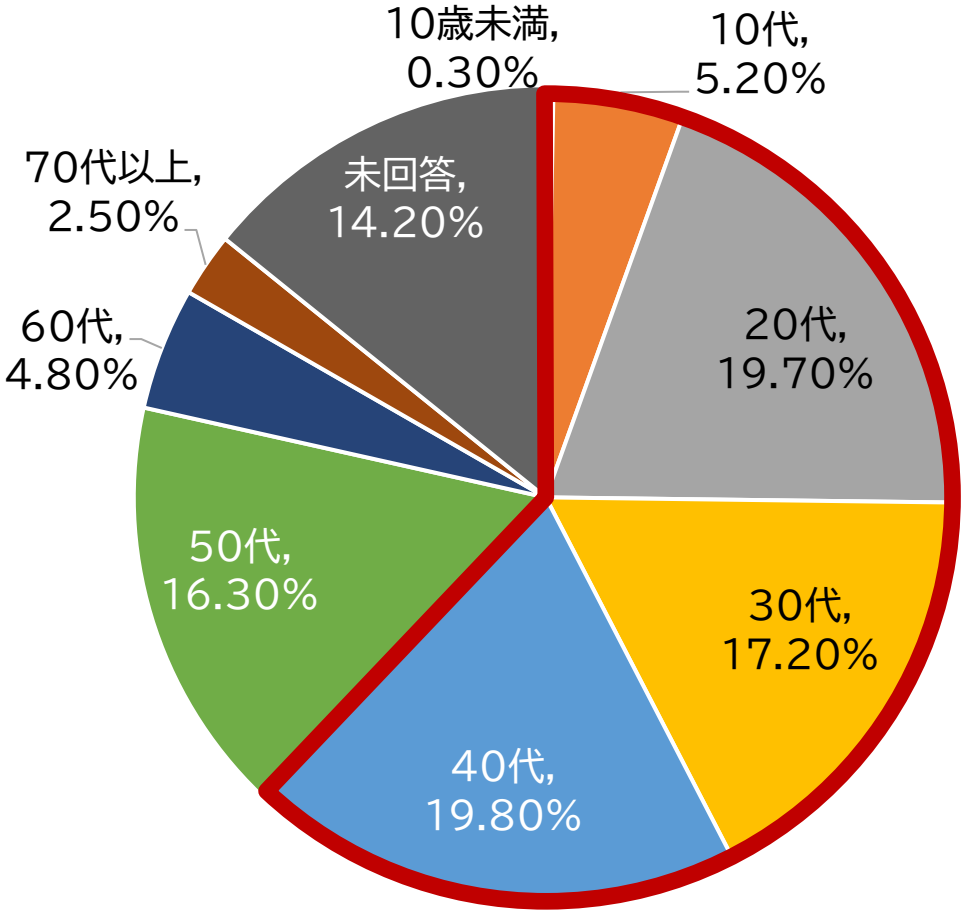
コロナ病床 1床 確保するために、別途一般病床 約2床 の休床が発生
（コロナ病床413床）　　（休床病床786床）

新規感染者数の増加によりさらに悪化する恐れ

コロナ感染後の後遺症（東京都） R3.3.30～R3.10.31の状況

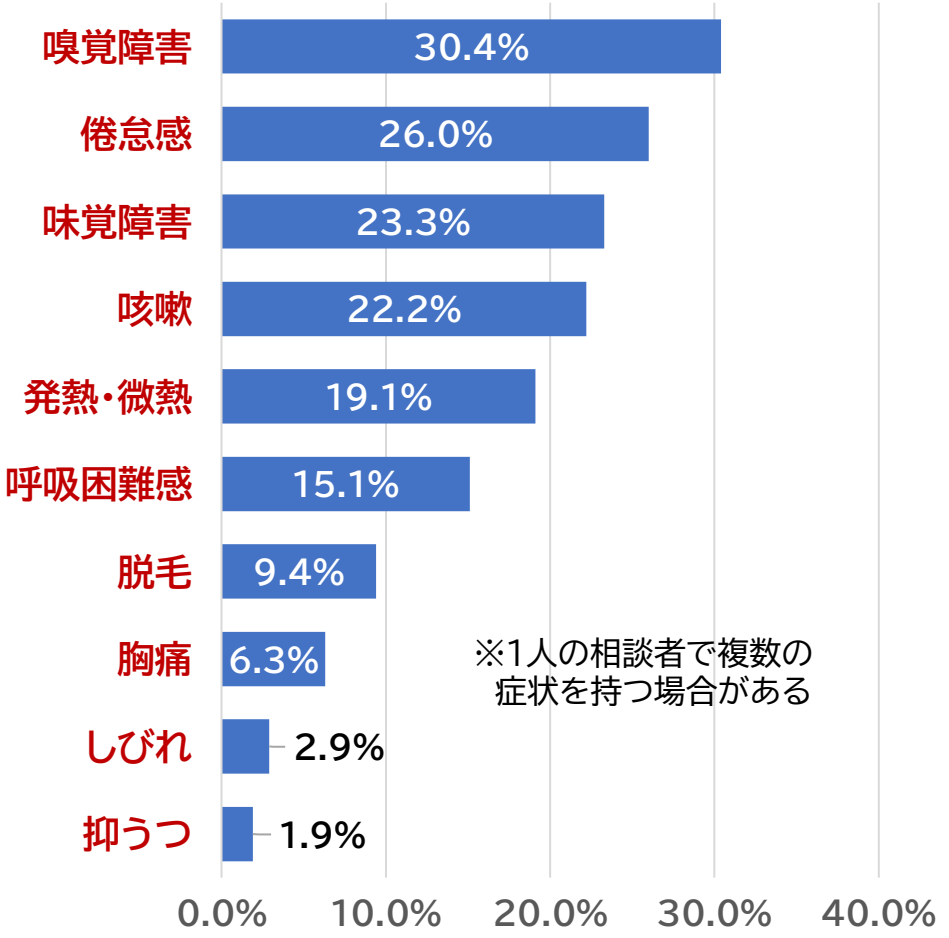
相談者の年齢構成

n＝3,857



後遺症に悩む方の約6割が
40歳代以下の若い世代

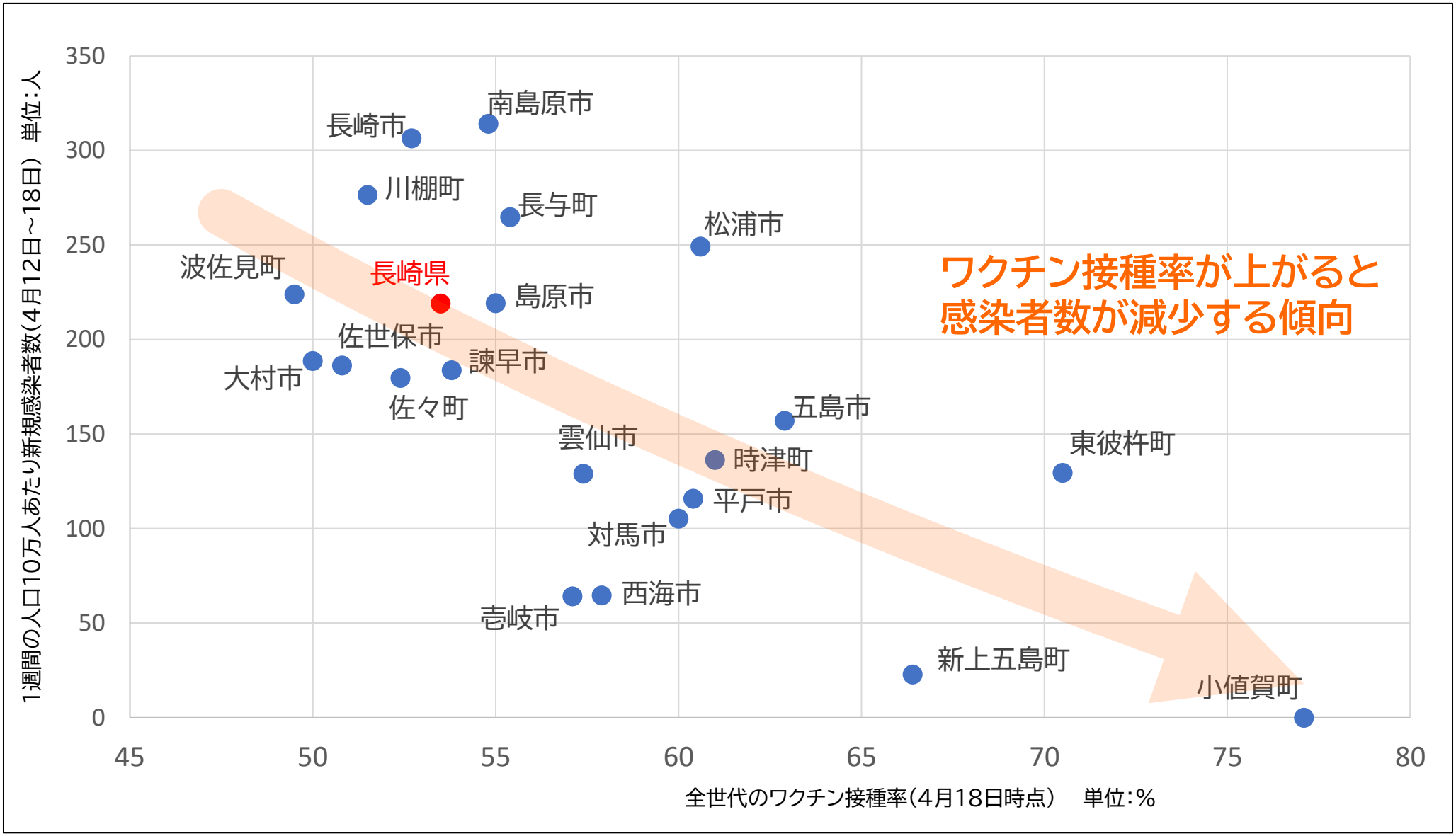
相談者が訴える症状



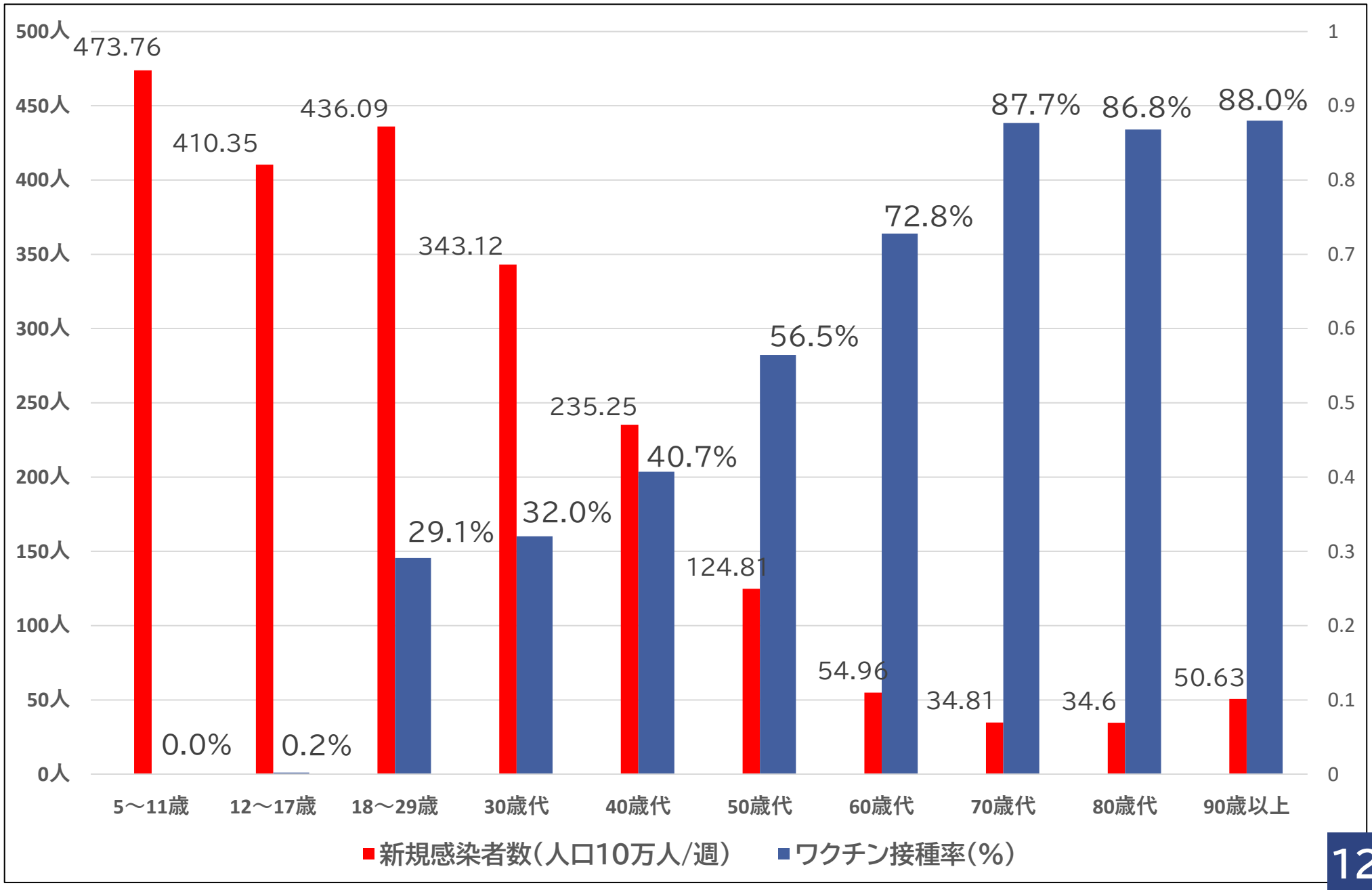
※1人の相談者で複数の症状を持つ場合がある

参考：東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料

市町別　3回目ワクチン接種率と新規感染者数 【全世代】



年代別 3回目ワクチン接種率と新規感染者数



ワクチン接種の推進

《3回目接種の状況》

▶ 接種回数　715,292回　　接種率53.5%（全国平均48.2%）　4月17日時点

《県の大規模接種センターの期間延長》

▶ 長崎・佐世保両会場の設置期間を5月末まで延長

実施期間	令和4年2月5日（土）～5月28日（土）（毎週 金曜日・土曜日 実施）
接種会場	長崎会場：県庁1階エントランス　佐世保会場：レオプラザホテル佐世保
接種対象	18歳以上で市町交付の接種券をお持ちの方（※）

※予約枠に空きがある場合は予約なしでも接種できます

ワクチン接種によって発症予防や入院予防の効果を高めるとされています。
市町から接種券が届きましたら積極的な接種をお願いします。

《小児接種（5歳～11歳）》

▶ 小児ワクチンの接種が始まっています。接種券が届きましたら、特に基礎疾患があるお子様は早めの接種をお願いします

▶ 住所地以外での接種も可能です（詳しくは接種を希望する市町にお問合せください）

長崎県新型新型コロナ小児ワクチン接種相談センター【8時～20時（土日祝日含む）】
電話（フリーダイヤル）　0800－500－8740

無料検査の期間延長

▶ 感染に不安を感じる県民の皆様への**無料検査期間を延長予定**

期　間　1月7日 ～ 5月31日

対　象　感染不安を感じる**無症状の県内在住者**

※濃厚接触者の方は対象外

その他　無料検査は**原則予約制**とします

※予約なしの場合、受検できない可能性があります

検査場所の詳細はこちら（県ホームページ）

長崎県　一般検査　検索

※受検の際は事前に検査場所にご連絡願います

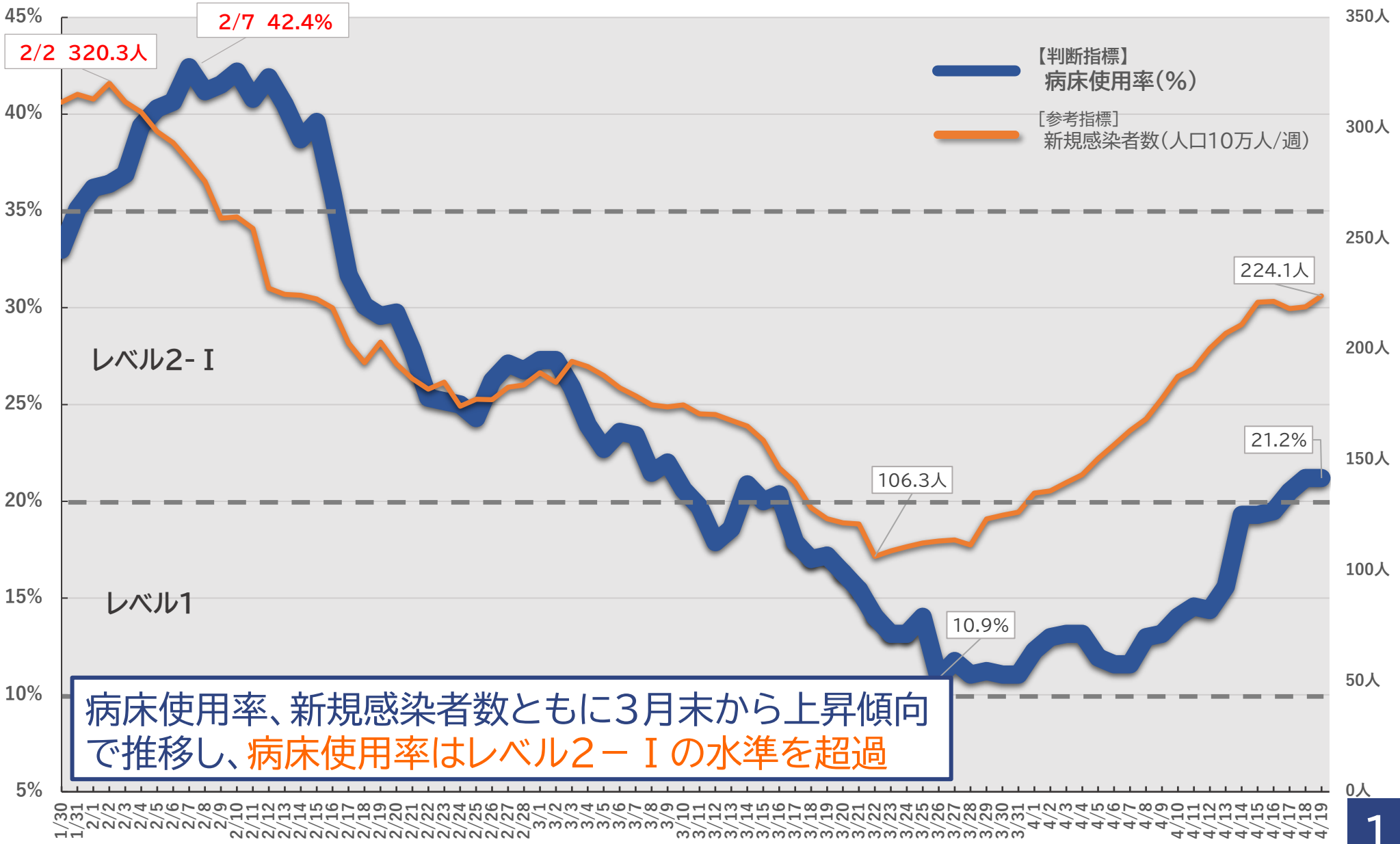
知事記者会見

本県における感染防止対策について

令和4年4月20日

長崎県

新規感染者数・病床使用率の推移



病床使用率、新規感染者数ともに3月末から上昇傾向で推移し、病床使用率はレベル2－Ⅰの水準を超過

感染段階レベル

4月20日から県内の感染段階レベルを2-Ⅰに引き上げ

	レベル0	レベル1	レベル2-Ⅰ	レベル2-Ⅱ	レベル3	レベル4
警報等	―	注意報	警戒警報	特別警戒警報	緊急事態宣言（独自）	非常事態宣言
＜指標＞病床使用率	―	10%	20%	35%	50%	100%以上

基本的な考え方

- コロナ対策にあたっては、社会経済活動と感染拡大防止対策の両立が重要です。ワクチン接種の進展や重症化リスクの低いオミクロン株の特性を踏まえると、可能な範囲でコロナとの共生を図ってまいりたいと考えています。
- そのため、現在の病床の水準では、いわゆる行動制限は行わず、観光キャンペーンについても、感染対策を徹底した上で継続いたします。
- 引き続き、県民の皆様に対し、積極的なワクチン接種、会話時のマスク着用や三密の回避などの基本的な感染防止対策の徹底を呼び掛けてまいります。

県外からの人流と感染者数

引用：Papilio（人流データ定点可視化サービス）by ㈱Agoop

今後の感染対策のポイント

～ゴールデンウィークを控え、更なる感染拡大を防ぐために～

4/20～

・人流の増加やBA.2への置き換わりにより全国的に感染が再拡大している中、帰省や旅行が増えるゴールデンウィークを迎えること
・本県以外の九州各県においても、感染が拡大していること　から

①本県から帰省や旅行で県外を訪問される際は、

- 訪問先での感染リスクの高い行動(3密となる場所への訪問、マスクを外した会食など)は控えましょう
- 県外での行動により感染不安を感じる方は、帰県後、検査の受検をお願いします

今後の感染対策のポイント

～ゴールデンウィークを控え、更なる感染拡大を防ぐために～

4/20～

・人流の増加やBA.2への置き換わりにより全国的に感染が再拡大している中、帰省や旅行が増えるゴールデンウィークを迎えること
・本県以外の九州各県においても、感染が拡大していること　から

②県外から帰省や旅行で本県に来県される際は、

- 来県前に、ワクチンの3回接種や検査の受検をお願いします
  事前に県外のご家族等にお知らせください
- 県内での感染リスクの高い行動（3密となる場所への訪問、マスクを外した会食など）は控えましょう

今後の感染対策のポイント

～ゴールデンウィークを控え、更なる感染拡大を防ぐために～

4/20～

・飲食の場面での感染が増加傾向にあり、GWに入ると会食の機会が更に増加すること
・大人数の会食は、大声になり、飛沫が飛びやすくなるなど、感染リスクが高まるとされていること　から

③会食の際は、1テーブル4人以内とする等、密にならない工夫をはじめ、感染対策を徹底し、認証店を利用しましょう

・富岳のシミュレーションにおいて、不織布マスク着用で感染リスクが大幅に低減することが証明されていること
・GWは帰省に伴う親族の集まりや同窓会など、普段会わない方との会食の機会が増えること　から

④会食時を含め、会話をする際はマスク着用を徹底しましょう

今後の感染対策のポイント

～ゴールデンウィークを控え、更なる感染拡大を防ぐために～

4/20～

GW期間中は、帰省等で重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患をお持ちの方と接触する機会が増加することから

⑤高齢者や基礎疾患をお持ちの方と接する際は、家庭内であってもマスクを着用するなど、感染防止対策を徹底しましょう

本県における感染防止対策について

※橙色は一部変更・追加箇所

1 県民の皆様への要請

- 本県から帰省や旅行等で県外を訪問する際は
  - ・訪問先での感染リスクの高い行動（3密となる場所への訪問、マスクを外した会食等）を控える
  - ・県外での行動で感染不安を感じる方は帰県後検査の受検を
- 県外から帰省や旅行等で来県される際は、
  - ・来県前に、ワクチンの3回接種や検査の受検を
  - ・県内での感染リスクの高い行動（3密となる場所への訪問、マスクを外した会食等）は控える
- 会食の際は、1テーブル4人以内とする等、密にならない工夫をはじめ、感染対策を徹底し、認証店を利用
- 基本的な感染防止対策の徹底

2 事業者の皆様への要請

- イベント開催時の感染防止対策の徹底
- 基本的な感染防止対策の徹底

3 県立学校での対策

- 部活動における密集・接触する運動や県内外問わず他校との交流については、各学校において地域の感染状況に応じて慎重に判断

4 児童福祉施設等での対策

- 基本的な感染防止対策（室内の換気、手洗い、消毒、検温、体調管理等）の徹底

5 介護・障害者福祉施設等での対策

- 福祉サービス等の維持・継続を図るための支援（DMAT、CovMATの派遣等）を実施
- クラスター発生時の保健所による現場指導

6 家庭内での対策

- こまめな手洗い、定期的な換気
- 食べ物や飲み物、食器の共用は避ける
- 高齢者や基礎疾患のある方と接する際は家庭内でもマスクを着用するなど感染防止対策を徹底

ワクチン接種の促進について

〈若い世代の皆様方へ〉

- 若い世代でも重症化することがあります
- 若い世代においても重症度に関わらず後遺症で悩む方が少なからず認められております
- 自らの健康を守るため、そして家族や仲間など大切な人を守るため積極的なワクチン接種をお願いします

18歳～49歳の3回目ワクチン接種率（4月17日時点）

長崎県	38.4%	（全国31.8%）

〈今後の取組〉

・新聞広告、SNS等によるワクチン接種の啓発
・大学や企業の協力によるメール等を活用した学生への周知
・イベント会場等における啓発動画の放映　　など

観光キャンペーンについて

本県の観光キャンペーン「ふるさとで“心呼吸”の旅」は継続します（～4月28日まで）

※本県県民の九州各県（沖縄県除く）のキャンペーン利用も継続

- キャンペーン利用の際は、他県よりも厳しいワクチン3回の接種証明又はPCR検査等の陰性証明を条件とするとともに、会話時のマスク着用など基本的な感染防止対策の徹底をお願いしています
- キャンペーンの停止や5月以降の延長については、今後の感染状況等を総合的に見極めながら判断します

今後の対応等について

- 感染者が更に増加し、病床がひっ迫するなど、医療や福祉などの**社会機能が維持できない状況になれば、強い行動制限を講じざるを得ない**と考えています
- そうした事態を招かないためにも、改めて**積極的にワクチンを接種**していただくとともに、**危機感を持って感染防止対策の徹底**をお願いします